

あきる野市高齢者在宅サービスセンターの指定管理者について（指定理由書）

1 審査対象団体

医療法人財団暁（以下「暁」という。）

2 現指定管理者に引き続き行わせる理由

あきる野市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第 2 条第 1 項第 2 号の規定に基づき、現指定管理者に管理を引き続き行わせる理由については、次のとおりである。

(1) 協定書、事業計画等に沿って適正に指定管理業務を行っていることについて

暁は、協定書、事業計画等に沿って適正に指定管理業務を行っており、これまでのモニタリング評価項目（受付等の業務、施設・設備の維持管理、安全性への配慮、透明性・公平性、効果的・効率的な運営、人員配置・人材育成等、個人情報保護、自主事業の取組及び環境への配慮）についても、全て適正であり総合評価も A である。

特に「自主事業の取組」においては、介護人材不足の解消に使命感を持ち、東京都の指定を受けて介護職員初任者研修を五日市センターで自主事業として実施している。この研修は、在宅・施設を問わない介護職の入口としての研修であることから、介護人材の確保につながる事業として評価できる。更に平成 28 年度からは、資格取得受講料が無料となる東京都介護職員初任者研修資格取得支援事業の指定事業者にもなったため、介護人材確保対策として期待できる。（平成 25 年度 1 回、平成 26 年度 3 回、平成 27 年度 2 回、平成 28 年度 1 回）

さらに、指定管理者仕様書記載の事業以外に自主事業として、通所事業における介護予防データの記録に取り組んでいる。今後は、蓄積されたデータの分析に加え、分析結果を当該通所事業や他の介護予防事業等の企画に活用することが期待できる。

また、「効果的・効率的な運営」においては、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。

(2) 施設の利用状況が改善されている又は良好な状態であることについて

〔実績〕（開館日数は、自主事業のみ実施した日を含む）

年 度	開館日数 (日)	通所事業 利用者数 (人)	自主事業	
			実施回数 (回)	利用者数 (人)
平成 25 年度	732	8,484	177	1,234
平成 26 年度	822	8,408	517	3,536
平成 27 年度	819	9,277	748	6,183
平成 28 年度	799	8,822	1,066	7,923

〔計画値〕

年 度	開館日数 (日)	通所事業 利用者数 (人)	自主事業	
			実施回数 (回)	利用者数 (人)
平成 25 年度	732	10,944	32	416
平成 26 年度	732	10,944	32	416
平成 27 年度	732	10,944	32	416
平成 28 年度	732	10,944	32	416

通所事業については、平成 25 年度の萩野センターの計画値に対する利用率（実績）は、58%であったところ、平成 27 年度に 82%となり、大きく改善された。開戸センターは 80%、五日市センターは 90%程度で維持している。

自主事業については、指定管理者が暁となった平成 25 年度からは、地域に密着したセンターを目指し、暁のノウハウを生かした様々なプログラムの実施や周知活動のほか、利用者の参加機会の拡大のため土曜日にも事業を実施している。これにより、利用者は年々大幅に増加し計画値を大きく上回っており、広く地域の高齢者に対して、大きな事業効果を発揮している。今後も利用者数等の増加が期待できることから、本市の地域包括ケアシステムにおける介護予防活動として更に期待できる。

- (3) 収支計画書に基づく予算執行が適正になされており、施設の収支状況が良好な状態であることについて

(単位：円)

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収入	指定管理料	41,855,650	40,362,600	40,707,600	41,451,000	
	利用料金収入	7,671,250	7,256,450	8,113,800	7,717,950	
	自主事業収入	1,610,400	3,763,000	4,669,000	5,687,028	
	収入計	51,137,300	51,382,050	53,490,400	54,855,978	
支出	人件費	29,708,014	32,123,435	33,719,690	31,654,739	
	維持管理経費	12,820,970	14,694,069	14,651,302	15,205,198	
	自主事業経費	17,664,441	8,609,451	5,081,424	4,551,112	
	支出合計	60,193,425	55,426,955	53,452,416	51,411,049	
収 支		△9,056,125	△4,044,905	37,984	3,444,929	

収入面では、自主事業の収入が指定管理当初の平成 25 年度より大幅に増加している。

支出面では、平成 25・26 年度については、自主事業の準備のため、備品等の初期投資が必要となり、自主事業経費の支出が多く、収支がマイナスとなっているが、平成 27 年度からは、自主事業の利用者の増加により利用料が増加し、収支がプラスに転じており、指定管理の 5 年間で収支が改善される見込みである。また、光熱水費の高騰や施設の老朽化に伴う修繕が発生する中で、創意工夫により維持管理経費及び自主事業関連経費の抑制が図られている点についても、高く評価できる。

- (4) 指定管理者となっている団体の経営状況等から、安定的かつ継続的なサービスの提供が認められることについて

暁は、財務諸表から経営状況の安全性・健全性が良好な状況と判断できる。また、上記 (1) から (4) までの内容から、あきる野市公の施設に係る指定管理制度の運用指針Ⅱ 1 (3) の「公募によらず、指定管理者を指定することができる場合の要件」を満たしており、安定した行政サービスの提供及び事業効果が相当程度期待できると判断できる。